



福祉だより

第20号 平成24年11月15日
発行

社会福祉法人 弘前市社会福祉協議会

〒036-8063

弘前市大字宮園二丁目8-1

代表 ☎33-1161

e-mail fureai@hirosaki-shakyo.jp

ふれあう笑顔と笑顔

第35回愛の広場レクリエーションの集い

七月二十二日、青森県武道館主競技場で、第35回愛の広場レクリエーションの集いが開催されました。

このイベントは、弘前市内の施設や在宅で生活する障がいを持つ人やその家族および地域住民とボランティアが、ゲームやアトラクションなどを通して楽しみながら交流を深め、自らの活動意欲を奮い起こすとともに、社会生活に融合することを願いとして行われています。

昨年は、台風の接近に伴い、参加者やボランティアの安全確保のため、残念ながら中止となりましたが、今年は朝から好天に恵まれ、この日を楽しみにしていた参加者やサポーターのボランティア等総勢約八百名が集まりました。

午前は、弘前城築城四百年祭マスコットキャラクタ―のたか丸くんや赤い羽根共同募金イメージキャラクタ―の愛ちゃんも参加して、開会式が行われた後、参加者全員で〇×クイズと創作ゲーム、玉入れが行われました。



弘前市立第三中学校太鼓部の演奏

午後は、カラオケが行われ、各施設や団体のどの自慢たちが、得意の歌や踊りを披露しました。

続いて、弘前市立第二中学校の太鼓部の太鼓演奏が行われました。体中に響き渡る迫力ある演奏に、参加者からも大きな拍手が送られていました。

最後は、毎年恒例となった弘前厚生学院保育科一年生によるよさこいが披露され、学生の皆さんの演舞の後、参加者全員が手になることを持って踊りに加わり、会場いっぱい大きな踊りと笑顔の輪が広がりました。参加されたたくさんの方々の皆さん、本当にお疲れ様でした。



参加者全員でのよさこい

【お詫びと訂正】

平成二十四年七月十五日発行の福祉だより第十九号一面、理事紹介の記事内の氏名に誤りがありました。心よりお詫び申し上げます。ととも次のように訂正いたします。

《誤》外崎ささ 《正》外川ささ

弘前市社会福祉大会

11月22日(木)開催

平成二十四年度弘前市社会福祉大会が左記のとおり行われます。入場は無料で、どなたでも参加できます。たくさんの方々の皆様のご来場をお待ちしております。

▽とき 十一月二十二日(木)
午後0時30分開始、4時終了予定

▽ところ 弘前市民会館大ホール

▽内容 (カッコ内の時間は多少前後するところがあります)
① オープニングアトラクション
(0時30分～0時50分)
真土保育園・岳陽保育園園児によるよさこいと遊戯

② 福祉協力校活動体験発表
(0時55分～1時30分)
岩木小学校、第五中学校、弘前学院聖愛高等学校

③ 式典(1時45分～2時40分)
社会福祉に貢献してきた方々の表彰、弘前市社会福祉協議会へ金品の寄付をされた方々への感謝状贈呈などを行います。

④ 記念講演(特別公演)(2時50分～4時)
「トランプット演奏と津軽弁トーク」
NHK交響楽団首席トランプット奏者 関山 幸弘氏

NHK青森お国ことばで川柳 洪谷 伯龍氏

▽その他 当日は会場駐車場に限りがありますので、自家用車でのご来場はご遠慮いただくよう、ご協力をお願いします。

平成二十四年度敬老大会

今年度の敬老大会が、八月下旬から九月中旬にかけて、二十六地区社会福祉協議会(町会での開催もあり)主催で、地域の学校体育館や公民館などで行われました。

弘前市の敬老大会は七十五歳以上の方が対象で、今年度は二万五千七百十人と昨年度に比べ約八百人の増加となりました。

敬老大会は毎年、地区社会福祉協議会と町会関係者、民生委員児童委員、た

くさんの地域住民・団体等多くの皆さんが協力して、出欠の確認や記念品の準備や配布、大会当日の運営まで行われています。

大会当日は、各会場で対象者の顕彰や記念品贈呈などの式典のほか、保育園児や有志による歌や踊りなど、趣向を凝らしたさまざまなアトラクションが行われ、地域のみんなで長寿をお祝いし、感謝しながら楽しい時間を過ごしていました。

今年も多くの皆さんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

平成24年度 地区社会福祉協議会会長の紹介

市内26の地区社会福祉協議会は地域住民の協力のもと、市社会福祉協議会と連携・協働し、さまざまな活動を行いながら、地域福祉の推進を図っています。

今年度の各地区社会福祉協議会の会長は次のとおりです。

朝陽	小笠原	ツヨエ	豊田	阿鹿	保野	敏	秋
一大	吉田	義信	堀越	鹿秋	野元	甚秀	悦之
二大	奥寺	開繁	千代	西竹	元沢	秀子	之工
三徳	佐藤	道美	屋屋	神西	沢内	チヨ	光男
和南	近藤	勝弘	東目	西竹	川内	國忠	孝一
時敏	大毛	雅幹	船高	佐塩	川藤	謙勇	一藏
北	片岡	初雄	高裾	塩齋	崎藤	金弘	一行
城西	清藤	通夫	新石	船對	水馬	伴昭	成夫
桔梗	月永	範十郎	東	木馬	澤		
文京	花雪	寛六	岩				
和徳	井澤	宏秀	相				
清水		孝					

(10月1日現在、敬称は省略させていただきました。)

バリアフリーねぶた 弘前やーやどー会出陣

八月一日、弘前ねぶたまつりに、バリアフリーねぶた「弘前やーやどー会」が参加しました。

これは、弘前ねぶた障がい者参加支援事業として、障がい者が地域のまつりへの参加を通じて、相互及び市民との交流を図ることにより、ノーマライゼーションの理念を広く普及するとともに、障がい者の社会参加を促進し、バリアフリーのまち弘前を目指すことを目的に昨年から行われ、今年で二回目となります。



ねぶたの前で記念写真

今年度は、障がいのある方十四名と家族・付添い十一名、ボランティア十二名、社協職員等十八名の計五十五名が、弘前市役所ねぶた実行委員会のご協力により、同会のねぶた運行と一緒に参加させていただきました。

当日は参加者全員で出陣式を行い、ねぶたの前で記念撮影をした後本番に臨みました。車いす利用の方が多く、ボランティアと一緒に、そろいの法被とTシャツを着て、大きな声で「ヤーヤドー」と叫びながら、時折沿道の市民や

観光客に手を振りながら、元気いっばいに練り歩きました。今回も、多くの方々のご理解とご協力により、事故なく無事に参加できました。関係者の皆さんに心より感謝いたします。

青森県総合防災訓練参加

八月二十五日、弘前市運動公園を主会場に、平成二十四年度青森県総合防災訓練が実施され、弘前市社会福祉協議会も、災害ボランティア受付訓練に参加しました。

当日は、弘前医療福祉大学と弘前南高校の学生や、市内の民生委員児童委員と青森県社会福祉協議会等と協力し、災害発生時、ボランティアセンターで行われる、ボランティアの受付、保険加入、作業とのマッチング、現場への送り出し、報告・確認等の流れをグループ分けをして行いました。昨年の東日本大震災以来、防災への意識が高まる中、参加者はお互いに役割や作業内容を認識しながら、厳しい暑さが残るにもかかわらず、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。



ボランティア保険加入窓口の様子

弘前市総合福祉作品展

九月二十九日と三十日の二日間、弘前市身体障害者体育館で、平成二十四年度弘前市総合福祉作品展が開催されました。

今年は、特別支援教育研究会、障がい者、児童、高齢者の施設・団体など二十三の展示ブースと六の即売ブースが設けられ、作品展示や販売が行われました。



展示された作品のようす

初日は、弘前市の蝦名副市長や出版団体関係者を迎えて開会式が行われ、テープカットにより作品展がスタートしました。

展示ブースでは、児童・生徒によるアイデア溢れる作品、仲間と一緒に作り上げた大作や、各施設利用者による力作、高齢者の皆さんの熟練の技が光る作品など、八百七十点もの出展がありました。

見学に訪れた皆さんは、きれいに

ディスプレイされた各ブースを一つ一つ見て回り、気に入った作品の前ではしばらく足を止め、作品に見入ったり写真を撮ったりしていました。

また、即売ブースでは、障がい者の生活や就労を支援する施設・団体で作られた野菜や果物、パン、焼き菓子、豆腐、手芸品などが並べられ、多くの人がスタッフの話を聞きながら買い求めていました。二日間でのべ六百六十二人の皆さんの来場がありました。

児童・生徒福祉体験学習

弘前市ボランティアセンターでは、八月十六日、弘前市身体障害者体育館で、平成二十四年度児童・生徒福祉体験学習を開催しました。

今年は、社会福祉への関心や理解を深め、障がい者スポーツを実際に体験することで、お互いに連携し合い、思いやりの心を育むことを目的に、車いすバスケットボールチーム青森ジョップ



ゲームのようす

スを講師に迎えて実施されました。

当日は今年の福祉協力校の中で小中各一校から合わせて十二名の参加がありました。最初に講師から、大げがにより車いす生活になり、その後車いすバスケットボールを始めるようになった経験談を聞き、続いて車いすバスケットボールの基本動作を教わり、実際のゲームを行いました。

子ども達は、車いすの操作が思うようにできなかつたり、座った状態でボールをパスしたりシュートする難しさに戸惑いながらも、普段接することのない障がい者スポーツを体験し、交流を深めていました。

高校生対象福祉施設体験講習会

弘前福祉人材バンクでは、七月二十四日から二十七日の四日間、福祉の仕事に関心がある、または福祉の仕事に就きたいと考えている高校生を対象に、平成二十四年度福祉施設体験講習会を開催しました。

今年は、市内三高校の一年生から三年生まで八名の参加がありました。

初日の基礎講義と車いす操作体験等の後、二日間にわたり、参加者希望の高齢者施設や保育所で、各事業所の仕事の見学や体験を行い、最終日には、実際に働く皆さんから、現場での経験などの話を聞きました。

夏休み中の暑い時期にもかかわらず、参加した学生達は将来の参考にしようとして、真剣に取り組んでいました。

弘前市赤十字奉仕団の活動

弘前市赤十字奉仕団は、市内十三地区、十七分団、千七百九十四名の団員で結成されており、弘前さくらまつりでの湯茶接待、愛の広場レクリエーションの集いでのサポート、赤い羽根共同募金街頭募金等のボランティア活動を実践しています。

また、災害時に備え、炊き出し、健康生活支援講習等の研修会も実施しています。

このほど、岩木分団では、青少年赤十字加盟校の岩木小学校五学年行事の親子レクで、児童とPTAと一緒に、非常災害食炊き出し研修会を実施しました。お母さん達が研いだ米と水を一人前ずつ袋(ハイゼックス)に入れ、輪ゴムで留めて大鍋で茹でました。炊き上がるまでの間、日赤県支部の齋藤次郎講師の講話を聞き、三十分ほどで出来上がったご飯は、全員でカレーライスにして試食しました。



炊き出し訓練のようす

奉仕団への加入は随時募集しています。詳細は弘前市社会福祉協議会担当までお問い合わせ下さい。

善意の寄付ありがとうございました

(平成23年10月～平成24年9月分)

お名前	金額(円)	お名前	金額(円)
株式会社アルク	100,000	弘前市保育研究会	18,400
表千家同門会青森県支部弘前地区教授者会	75,000	明誠保育園	14,100
青森県遊技業協同組合中弘南支部	100,000	玉雲堂チャリティバザー友の会	20,000
バッグサークル	10,000	弘前川柳社	11,104
ナルミ医院	100,000	朝市運営委員会一同 長尾和子	10,000
安穏寺女性の会	15,000	青森銀行土手町支店友の会・パティクラブ	100,000
新宅清司	50,000	裏千家淡交会青森支部弘前分会	22,000
キリンビールマーケティング株式会社青森支社(2件)	184,591	株式会社ユニバース	86,170
弘前市立清水公民館	12,097	みちのく銀行下土手町支店グリーンクラブ	34,350
大隈律子	100,000	吉本睦子	10,000
弘前市フォークダンス協会	10,000	在相リサイクル友の会 葛西憲之助	10,000
押し花クラブ(東部公民館内)	4,000	弘前ママテニスクラブ 会長 成田恵美子	15,994
愛球会ゴルフ苦楽部	9,700	陸上自衛隊弘前駐屯地陶芸部	55,000
株式会社陸奥新報社	50,000	弘前地区ハイ・タク野球連盟	10,000
弘前津軽ライオンズクラブ	30,000	對馬清貴	50,000
宮園青山連合ねぷた愛好会	16,600	町田藤一郎	142,277
社団法人弘前市医師会	50,000	りゅう歌謡研究会	20,000
サムエル保育園・ダビデ保育園	50,000	弘前航空電子労働組合	100,000
北門書道会	13,000	青森銀行弘前・南黒お取引先合同ゴルフコンペ	80,000
奈良政治	10,818	弘前歌謡企画	21,500
弘前ニッカ会	118,000	MOA健康生活ネットワーク弘前	20,000
カラオケ喫茶銀の鈴	33,700	匿名(14件)	1,049,000
カルチャロード実行委員会	78,500		

(敬称は省略させていただきます。)

自分の町を良くするしくみ。

～赤い羽根共同募金運動実施中～

今年で66回目となる赤い羽根共同募金運動が10月1日から全国一斉に行われています。

皆様からの寄付金は、社会福祉協議会やボランティアグループ等が地域で行う身近な福祉活動や、社会福祉施設での作業用備品の整備等、県内の民間福祉推進のほか、災害発生時のボランティア活動などにも役立てられます。

今年も皆さんの温かいご協力をお願いいたします。

この広報誌は、共同募金の配分金で作られました。

ふれあい高齢者 スポーツ親善大会のお知らせ

市内在住の60歳以上の方を対象に、冬期間の健康保持と生きがいを高め、参加者相互の親睦・交流を図ることを目的に、標記大会が次のとおり実施されます。

1. 新卓球(ラージボール) 《期 日》平成24年12月8日(土)
《場 所》弘前市河西体育センター
《参加費》参加費500円 《締 切》11月22日(木)
《申込先》☎34-3153(笠川) ☎33-2407(木村)
2. グラウンドゴルフ 《期 日》平成25年1月26日(土)
3. ペタンク 《期 日》平成25年2月16日(土)
4. ゲートボール 《期 日》平成25年3月16日(土)

2～4の開催場所は「克雪トレーニングセンター」で、詳細や申込方法は今後順次決定されますので、弘前市社会福祉協議会までお問い合わせ願います。 ☎33-1161